

日本語はもう死んでいるのか。 我が祖先が語っていた美しい言語は何処へ行ったのか。

万物流転。進化と変革はこの世の中を支配し、万物の移り変わりと同様に言語も変化する。これは当然の現象である。但し、この移行は平和裏に行わなければならないのに、前世紀から日本語は絶望的に変わっていると感じている。

どの言語にも外来語があり、それを問題視するつもりはない。だがしかし、数世紀に渡って作られた己の言語の豊かな語彙を犠牲にまでして不必要な外来語を取り入れる習慣は間違っており、誰かが歯止めを掛けなければならない。

我々の確信と使命は下記のとおりである：

- 一： 外来語使用は極力控え、和語または漢語の使用を増やしていく。
- 二： 我が言語日本語がもっと純粋で美しい言語になるよう、現在の外来語に代る新たな和語を作成する。
- 三： その外来が他言語で「外来語」としてどの程度国際的に使われているのかを判断し使用を見極める。
- 四： 必要の無いと判断された外来語を日本語辞書から消し去るように正式に申し入れる。
- 五： 片仮名は外来語を書く場合のみ使用する。つまり、日本語ではない言葉を示す場合は洋文字を使う。

例：

- 三： 「ハンバーガー」という言葉は英語のみではなく西語、伊語、仏語等と言った多くの国で日常的に使われているため、その使用を良しとする。
- 五： 「ビュー」と言う言葉を書く場合は洋文字を使い「view」と書く。我々はここまでしないと今後必要のない外来語が更に増えると予想している。

免責：当協会は政治的な関係は一切御座いません。日本語擁護協会は日本語を擁護することのみを目的とした組織である。日本に在住している外国の方及びに外国語を差別することは我々の意図に反します。当協会は全ての人種、性別、宗教の方の意見を平等に歓迎いたします。

文之武